

平成 2 8 年

# 九州海域の赤潮

平成 2 9 年 3 月

水産庁

九州漁業調整事務所

## は じ め に

赤潮については、長年に亘り大学や国及び県の試験研究機関が中心となって、赤潮発生機構の解明、予察技術及び防除技術の開発等に努めておりますが、現在もなお赤潮被害を決定的に防止する手だては確立されていない状況です。

一方、従来より漁業者を中心に漁業被害の未然防止や軽減を図るための取り組みが実施されておりますが、こうした現場対策を講じる上で赤潮発生の原因となるプランクトンの生理学的・生態学的な知見、プランクトン増殖の要因とされる富栄養化を引き起こす気象・海象などの海域環境に関する知見は、極めて重要なものとなっております。また、各県が精力的に取り組まれている漁場環境のモニタリングは、将来の赤潮対策を検討する上でも、欠くことのできない重要な要素となっております。

このような取組に資するため水産庁としましても、赤潮に関する情報の迅速かつ適切な伝達・交換の促進のための努力を行っており、その一環として、毎年、本資料をとりまとめて発行しております。今後もおかかる努力を鋭意継続いたしますとともに、大学・試験研究機関と協力して赤潮による魚類等のへい死機構の解明などを進めて参りたいと考えております。

本資料を取りまとめるにあたり、赤潮の発生状況など、資料、情報を提供していただいた、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県に、心から御礼申し上げますとともに、関係各県、試験研究機関及び漁業者の皆様方には、今後とも赤潮対策へのご尽力とご協力をお願い申し上げます。

平成29年3月

九州漁業調整事務所長

廣山 久志

# 目 次

1	本資料を使用するにあたっての注意事項	1
2	平成28年の赤潮発生状況	2
(1)	概要	2
(2)	月別発生状況	2
(3)	海域ごとの発生状況	2
(4)	継続日数別発生状況	2
表-1	海域ごとにおける月別赤潮発生件数	3
図-1	月別赤潮延べ発生件数	5
図-2	海域別赤潮発生件数	5
表-2	海域ごとにおける継続日数別赤潮発生件数及び日数	6
3	平成28年の赤潮構成プランクトン等の状況	7
(1)	プランクトンの出現構成比	7
(2)	月別プランクトン出現状況	7
(3)	海域別プランクトン出現状況	7
(4)	継続日数別プランクトン出現状況	7
図-3	プランクトン(網)別出現件数構成比	8
図-4	プランクトン(属)別出現件数構成比	8
図-5	渦鞭毛藻プランクトン出現件数構成比	9
図-6	珪藻プランクトン出現件数構成比	9
図-7	ラフィド藻プランクトン出現件数構成比	10
図-8	被害原因プランクトン(属)出現件数構成比	10
図-9	プランクトン別月別延べ出現件数	11
表-3	月別プランクトン出現件数	13
表-4	海域別プランクトン出現件数	15
表-5	継続日数別プランクトン出現件数及び日数	17
4	平成28年の赤潮による漁業被害状況	18
(1)	漁業被害発生件数及び被害金額	18
(2)	被害原因プランクトン	18
(3)	漁業被害発生海域概略図	19
5	平成28年の航空機による赤潮観測調査状況	20
(1)	調査目的	20
(2)	調査コース	20
(3)	調査結果	20
6	平成28年の資料	27
(1)	赤潮発生状況(発生日順一覧)	28
(2)	月別赤潮発生海域概略図	36
(3)	赤潮による漁業被害状況(発生日順一覧)	48
7	過去(昭和53年)からの資料	49
(1)	年次別赤潮発生件数推移	50
(2)	年次別・海域別発生状況(発生前順一覧)	51
(3)	年次別・継続日数別発生状況(発生前順一覧)	53
(4)	年次別・継続日数別発生件数推移	54
(5)	年次別・海域別構成プランクトン出現状況(発生前順一覧)	55
(6)	年次別漁業被害件数・被害金額状況(発生前順一覧)	75
(7)	年次別漁業被害件数・被害金額推移	76
(8)	年次別漁業被害状況(発生前順一覧)	77

# 1 本資料を使用するにあたっての注意事項

- ① 本資料に掲載している各種データ(数値)は、九州海域関係各県から提供された情報に基づき集計したものです。
- ② 広範囲にも及ぶ赤潮の場合、複数の県から発生の情報提供されれば、その提供のあった件数をもって計上しているため、実際に発生した赤潮の件数と異なる場合があります。
- ③ 本資料における海域の区分は、下図のとおりです。

【海域区分図】

